

COPD増悪に対するNPPVの導入と管理 ～慢性期にどうつなげるか～

神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科

永田 一真

安定期COPDに対して長期間NPPVを行うことにより予後が改善することが近年いくつかの臨床試験で示されているが、高二酸化炭素血症を伴うCOPD増悪後にNPPVを長期間使用することの有効性についてはまだ明確にされていない。いくつかの臨床試験において繰り返す増悪を防ぐことが示唆されているが、有効性を否定する結果も報告されている。本発表ではそれらのエビデンスについて整理するとともに、現在進行中の臨床試験についても紹介したい。

さらにCOPD増悪後に長期間NPPVを使用する場合、有効性の高い患者選択、至適設定、導入の時期について考える必要がある。増悪期以外にⅡ型呼吸不全を伴わない患者においては長期間NPPVの有用性は乏しい可能性があるが、慢性Ⅱ型呼吸不全を基礎に持つかどうかを増悪期に判断することは難しく長期間NPPVを導入するか悩ましいことが多い。また安定期COPDに対しては高圧でNPPVを使用することが予後を改善することが近年臨床試験で示されているが、増悪後にも高圧を要するのかははっきりとしていない。これまでのエビデンスから現時点での治療戦略について考えてみたい。